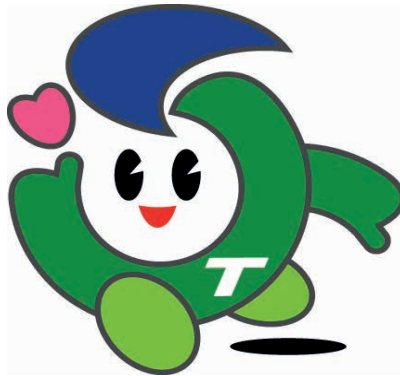


健康 生きがい 地域貢献

第六次中期計画

令和4年度から令和8年度



シルバーくん

公益社団法人
調布市シルバー人材センター

目次

I	計画策定にあたって	・ ・ ・ ・ ・	2
II	計画期間	・ ・ ・ ・ ・	3
III	計画目標	・ ・ ・ ・ ・	3
IV	計画事業		
1	会員増強	・ ・ ・ ・ ・	4
2	就業の拡大	・ ・ ・ ・ ・	5
3	安全就業の徹底	・ ・ ・ ・ ・	7
4	広報・普及啓発活動の強化	・ ・ ・ ・ ・	8
5	会員の連携と交流の促進	・ ・ ・ ・ ・	9
V	参考資料	・ ・ ・ ・ ・	10

I 計画策定にあたって

調布市シルバー人材センター（以下、調布シルバー）は、令和5年1月に設立45年を迎えます。

この間、会員の努力はもとより、調布市や関係団体を始め多くのお客様からのご支援ご協力のもと、着実な発展を遂げてきました。

会員が、就業を通して健康・生きがいを実感し、充実した日々を過ごすことが、少子高齢化社会において極めて重要であることはいうまでもなく、シルバー人材センターの果たす役割は、今後より一層重要になるといえます。

そのような中、令和2年春からの「新型コロナウイルス」の急速な感染拡大により、シルバー事業も全国的にかつてないほどの大きな影響を受け、大変厳しい状況にあります。

調布シルバーも、就業の縮小やさまざまな活動の中止・延期を余儀なくされ、これまでにない困難な状況に直面しました。

しかし、コロナ禍にあってもこそ、シルバーの存在意義を改めて確認し、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、地域社会の発展や高齢者の活躍のため、調布シルバーとしてより一層、その役割を果たしていくことが求められています。

こうしたことから、本計画においては、コロナの克服を目指しながら、会員増強や就業の確保を柱として、今後の調布シルバーの進むべき方向性を確認するとともに、5年間の目標値を定め、その実現に向かって努力していくこととし、ここに第六次中期計画として策定するものです。

Ⅱ 計画期間

令和4年度から令和8年度 5年間

Ⅲ 計画目標

会員数 1,780人

契約額 7億2,028万円

会員数・契約金額の実績及び目標

年次実績・計画	年度	会員数 人	契約金額 千円		
			請負契約金額	派遣契約金額	合計金額
第四次計画 (実績)	平成24年度	1,466	595,460		595,460
	平成25年度	1,470	597,128		597,128
	平成26年度	1,500	625,894		625,894
	平成27年度	1,512	648,479	438	648,917
	平成28年度	1,557	643,675	4,734	648,409
第五次計画 (実績)	平成29年度	1,585	664,745	16,171	680,916
	平成30年度	1,605	668,231	34,457	702,688
	令和元年度	1,625	655,695	42,504	698,199
	令和2年度	1,636	611,927	53,120	665,047
	令和3年度	1,680	619,038	60,100	679,138
第六次計画 期間中の目標	令和4年度	1,700	625,228	61,903	687,131
	令和5年度	1,720	631,481	63,760	695,241
	令和6年度	1,740	637,795	65,673	703,468
	令和7年度	1,760	644,173	67,643	711,816
	令和8年度	1,780	650,615	69,672	720,287

(令和3年度は、見込み)

- ※1 第六次計画（令和4年度～8年度）の会員数の目標値については、過去実績においても一定の増加を達成していることから、各年20人の伸びとした。
- ※2 第六次計画（令和4年度～8年度）の契約金額の目標値については、過去実績に加え、コロナの感染拡大による就業縮小などの影響も勘案し、請負契約は年率1%、派遣契約は年率3%の伸びとした。

1 会員増強

シルバー人材センター事業の着実な推進のためには、会員増強は最重要課題といえます。

会員の平均年齢が 75 歳に達する中、現会員の元気な就業を継続しつつ、新たな会員の入会を増やし、シルバーの活性化に繋げていくことが必要です。

全国的にも多くのセンターが会員数の減少に直面する中、調布シルバーは年々会員数を増やし続けており、このことを継続していくことが大切です。

そのためには、基本的な取組として、会員・役職員一体となった口コミなどによる入会促進や、広報・普及啓発活動の強化により、シルバーのイメージアップを図ります。また、新たに導入したオンライン入会の仕組みを周知するとともに、入会説明会の充実にも取組みます。

特に、女性の会員比率をさらに高めていくことが重要であるとの認識のもと、女性の入会促進に力を注ぎ、そのための新たな仕組みづくりを検討します。

シルバーの認知度を高め、より関心をもってもらえるような効果的な取組を進め、計画に掲げた目標値の達成に向け努力していきます。

2 就業の拡大

シルバー人材センターにとって就業の確保は、会員の増強とともに車の両輪として取り組む重要な課題です。

センターの契約金額については、平成24年度以降、堅調に推移してきましたが、令和2年度に「新型コロナウイルス」の感染拡大により大きく落ち込みました。

令和3年に入り回復の兆しはあるものの、依然として厳しい状況は変わりなく、危機感をもって各種取組を実施することが必要です。

民間事業所や家庭には、センター事業のPRを行い幅広い需要に応えていきます。

また、コロナの感染拡大により設置を見送っていた「就業開拓専門員」を配置し、多様な分野の就業開拓を行い就業の拡大を目指します。

公共関係では、コロナの影響による市の公共事業の縮小により、厳しい状況が予測される中、引き続きセンターの接遇・管理機能の向上に努めながら、受注の確保を要請していきます。

さらに、独自事業のパソコン教室、学習教室や英会話・中国語等の語学教室などのさらなる充実にも努めていきます。

植木をはじめ、除草・草刈りなどのいわゆる外仕事については、安定した発注に應えるため、従事する会員の確保と一層の技能向上に努めていきます。

派遣事業については、調布シルバーとして平成 27 年度から事業を開始し、順調にその実績を伸ばしてきました。コロナの感染拡大による受注の落ち込みもほとんど見られず、就業の確保に貢献しています。

就業拡大と適正就業の観点からも、派遣の雇用形態を的確に活用しながら、事業の運用を図っていきます。

会員が元気で健康・生きがいを実感し、充実した就業ができるよう、多様な就業の確保とその拡大に向け、センターとして重点的に取組を進めていきます。

3 安全就業の徹底

会員が元気で働き続けるためには、けがや事故を無くし、健康を維持していくことが大切です。

近年、会員の高齢化等に伴い、事故の発生件数が増加傾向にあるため、安全就業について、さらに徹底した取組強化が求められています。

コロナの感染拡大もあり、安全に関する研修会等の開催中止など、例年実施してきたさまざまな取組が中止、延期となり、残念ながら安全対策が不十分となっています。

コロナの収束状況を見据えながら、さらに安全対策を充実していくことが必要です。

この「中期計画」と並行して策定を予定している「安全対策基本計画」に基づき、計画に掲げた各種取組を着実に実施し、無事故で安全・安心な就業を実現することを目指します。

さらに、「安全管理委員会」を中心に、今後より一層会員に対する安全就業の徹底と意識啓発に努めていきます。

4 広報・普及啓発活動の強化

調布シルバーも設立４５年となり、この第六次中期計画を経た後、節目となる５０周年を迎えます。

この間、さまざまな機会を通じてシルバーの活動を市民、事業者等に周知を図ってきました。今後さらに取組を強めていく必要があります。

そうした中で、いくつかの取組を効果的に実施できたことについては一歩前進と捉えています。

調布駅構内の駅ナカ広告の掲示や京王線電車広告、ネットバナー広告やＬＩＮＥ広告、シアタス調布シネアド広告等を積極的に活用したほか、調布市発行「暮らしの便利帳」の広告掲載なども実施しています。

これに加えて、シルバーパンフレットの市内全域配布や会員の口コミによるＰＲなどの地道な取組を継続し、本計画期間内においても、より一層センターの活動について周知・広報の強化を図っていきます。

また、会報「働くよろこび」の紙面充実には引き続き努めるほか、新たにオープンした「サテライトルーム」の効果的活用を通じて調布シルバーの周知に繋がります。

5 会員の連携と交流の促進

シルバー人材センターは、就業を通して、会員の連携や交流を図り、高齢者の地域社会での生活に貢献できる団体を目指しています。

しかし、「新型コロナウイルス」の感染拡大により、会員の日常生活もさまざまな制約を受け、センターの活動も、地区全員交流会や職群班会議をはじめ、各種研修会・講習会、さらにボランティア活動の中止など、会員相互の交流の機会が大きく減少してしまいました。

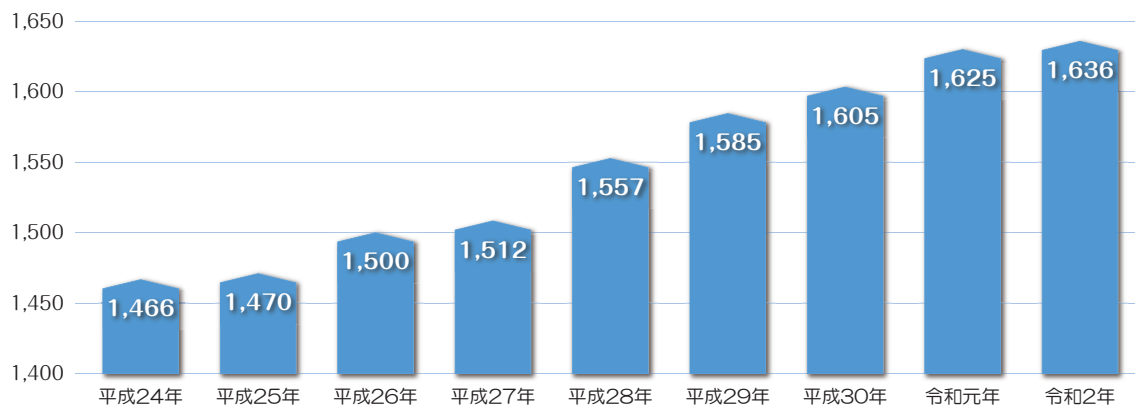
このような状況においては、なおさら会員同士のコミュニケーション、交流が大切になります。その実現のため、SNSを通じた情報発信の一層の充実など、デジタル化の推進にも努めます。

また、アフターコロナを見据え、地区全員交流会の再開はもとより、新たな「女性の会（仮称）」立ち上げの検討や、令和３年から使用開始したサテライトルームの活用など、会員連携・交流の場を、これまで以上に提供できるよう着実に取り組みます。

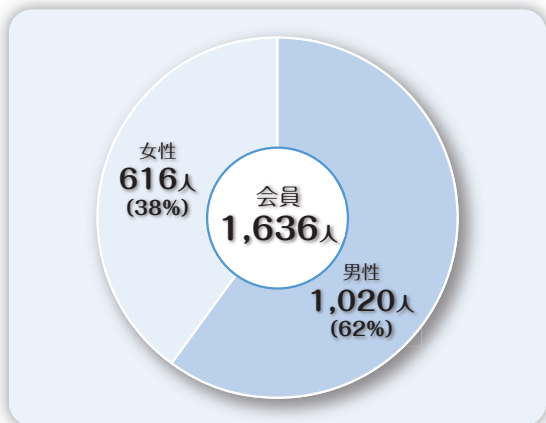
会員の实態をできる限り把握しながら、より効果的な取組を検討し、幅広い会員連携と交流促進の実現を目指します。

V 参考資料

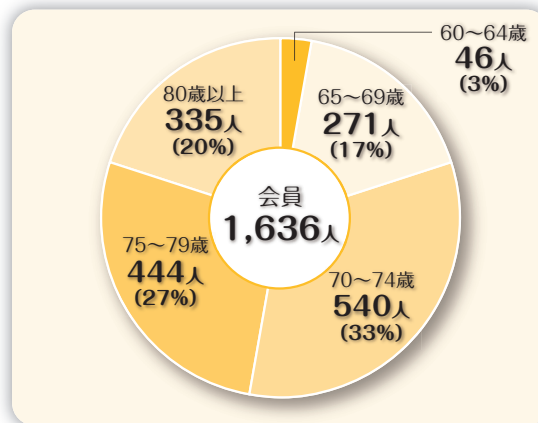
● 会員数の推移 (単位：人)



● 男女別会員数

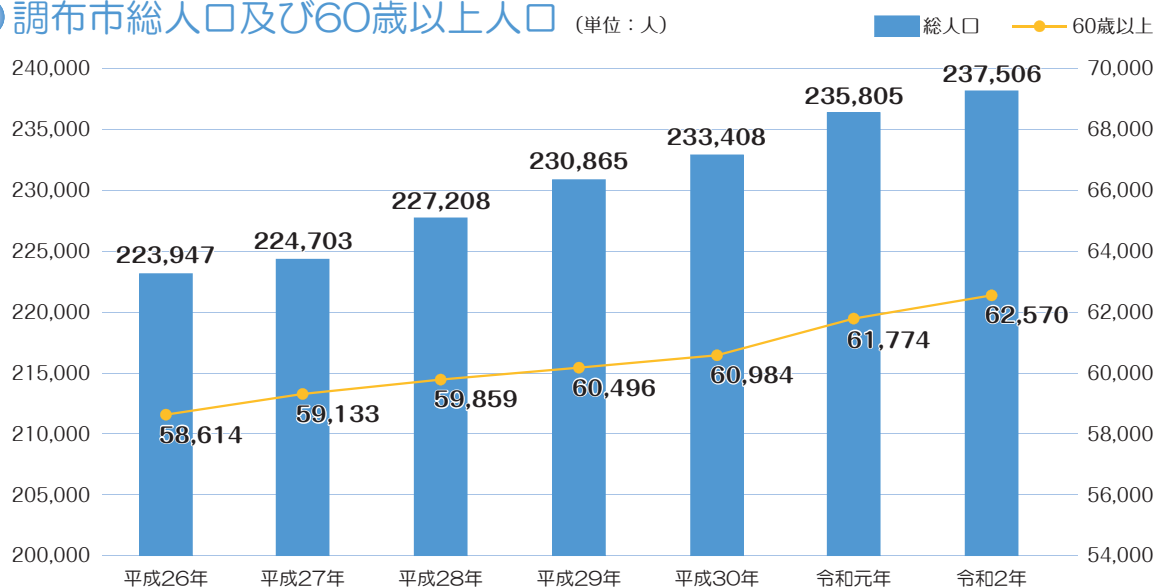


● 年齢別会員数



平均年齢 **全体75.0歳** 【男性75.5歳】 【女性74.3歳】

● 調布市総人口及び60歳以上人口 (単位：人)



策 定 中・長期計画検討委員会

発 行 公益社団法人

調布市シルバー人材センター

〒182-0026 東京都調布市小島町 3 丁目 87 番地 4

電話 042-487-9375 Fax 042-484-7143

ホームページ <https://www.chofu-sc.or.jp>